

【既定】	新たな地域交通の整備	予算額	49,314 千円
【既定】	地域交通の運行	予算額	248,380 千円
【既定】	自転車活用の推進	予算額	849 千円

事業の目的・概要

ゼロカーボンシティの実現等を見据え、誰もが気軽に移動できる利便性の高い地域交通環境の形成を図るとともに、杉並区産MaaS^{※1}を軸に、都市OS（データ連携基盤）の調査・研究を含め、交通分野から分野横断したスマートシティ^{※2}の実現を目指します。また、移動の選択肢の拡充やデータを利活用・可視化し、環境にやさしい移動経路の推奨等、新たな移動の価値を創出します。

さらに、「杉並区自転車活用推進計画」に基づき、交通の安全の確保を図りつつ、区民や事業者へ自転車の多面的な価値や魅力を伝えることによって、生活や仕事など様々な場面において、これまで以上に自転車を活用していくことを推進します。

※1 MaaS…Mobility as a Serviceの略。ICT活用による移動をスムーズにつなぐ新たな「移動」の概念又は様々な移動サービスを1つに統合させた新たなモビリティサービス

※2 スマートシティ…ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域であり、Society 5.0の先行的な実現の場

主な取組内容

➤ グリーンスローモビリティ^{※3}の運行

荻窪三庭園（荻外荘公園・大田黒公園・角川庭園）を含む、荻窪駅南側地域における区民や来街者の回遊性を向上させるため、グリーンスローモビリティを運行します。

※3 グリーンスローモビリティ…時速 20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称



グリーンズローモビリティ開通式

➤ 新たなモビリティサービスの実証実験・実証運行

移動から派生する都内住宅都市部固有の課題解決並びに新たな移動価値を創出するため杉並区産MaaS「ちかくも」の実証実験の実施に加えて、将来を見据えた自動運転技術の活用を検討するとともに、交通不便地域である堀ノ内・松ノ木地区周辺においては、新たな乗合交通（AIオンデマンド交通^{※4}）の実証運行を行います。

杉並区産MaaS「ちかくも」
ロゴマーク

※4 AIオンデマンド交通…路線やダイヤを定めず、利用需要（利用者の予約）に応じてリアルタイムの配車や経路の設定、乗合等をAI（Artificial Intelligence：人工知能）が最適化し運行をする新たな交通システム

➤ **自転車フレンドリープロジェクトの実施**

自転車の運転スキルや交通ルールを楽しみながら学べる、未就学児向けじてんしゃゲームを区立子供園で実施します。また、自転車が車道を通行しやすい環境づくりを行うため、クルマのドライバー等に対して、自転車にやさしい運転を心がけるよう周知・啓発することにより、限りある道路空間を譲り合う風土の醸成に区民と共に取り組みます。



自転車フレンドリープロジェクト
ロゴマーク



じてんしゃゲーム実施の様子
(高円寺北子供園)

➤ **モビリティ・マネジメントの実施**

ゼロカーボンシティの実現や包摂的な都市交通への転換に向けた取組を行います。

クルマから公共交通・自転車への利用転換を促進することで、区民が少しずつ自発的に、公共交通や徒歩・自転車などの多様な移動手段を、適度にかしこく選択するよう、イベント等を活用し行動変容を促します。

